

平成 24 年 3 月 29 日 (木)

特別経費プロジェクト拠点代表 征矢英昭 教授

所属：人間総合科学研究科

氏名：イ ミンチョル

第 17 回 BAMIS セミナー報告書

I. セミナー概要

征矢英昭教授から Fernando Gomez-Pinilla 博士の紹介と招聘の意義が紹介された。Fernando Gomez-Pinilla 博士は「Diet and Exercise Therapy for Cognitive Dysfunction」の演題で講演した。質疑応答では、脳の可塑性向上の背景にある分子機構に対して意見が集中し、中枢神経系疾患の治療や予防に有効な食事（栄養）や運動とその神経適応のメカニズムについて生理的意義や可能性が活発に議論された。

II. 開催概要

主 催：文部科学省特別経費プロジェクト

「たくましい心を育むスポーツ科学イノベーション」
筑波大学大学院人間総合科学研究 体育科学専攻・コーチング学
専攻・スポーツ医学専攻 システム情報工学研究科 知能機能シ
ステム専攻

日 時：平成 24 年 3 月 29 日 (木) 16:00～18:00

場 所：筑波大学体芸棟 5C606 会議室

講 師：Dr. Fernando Gomez-Pinilla

参加人数：35 名

Ⅲ. 講演概要

演題：「Diet and Exercise Therapy for Cognitive Dysfunction」

○講演内容

Fernando Gomez-Pinilla 博士は「Diet and Exercise Therapy for Cognitive Dysfunction」の演題で栄養や運動による脳の可塑性向上の背景にある分子機構の解明について講演した。前半は、運動による脳可塑性の変化と脳由来神経栄養因子（BDNF）といったニューロトロフィンの作用に着目し、その解明のために検討した研究について数多く披露し、分かりやすく概説した。後半は、食品に含まれる特定の栄養素、特に、不飽和脂肪酸の一種である ω 3 脂肪酸が認知機能やメンタルヘルスの保持・増進に効果的であることを講演した。我々運動分野で研究する教員や学生の多くは脳機能において運動と栄養の効果に対して高い関心を持って傾聴していた。質疑応答では、今後、脳の可塑性向上を調節する分子メカニズム研究を行って行く上での有用性や注意点について活発な意見交換が行われた。